



大野

No. 2
45. 8. 1
発行 大野市議会
TEL 6-1111
印刷 松浦印刷所

大野市議会議員

議長	高田新左	門
副議長	斎藤秀雄	
議員	塗茂光夫	
同	石田善徳	
同	米村喜六	
同	角本守	
同	宮村光男	
同	杉川栄	
同	林保信	
同	平間源治	
同	南正雄	
同	北山作右	門
同	土谷好文	
同	出村広吉	
同	真柄重郎	
同	猪野毛一雄	
同	丸山惣市	
同	山岸充栄	
同	土屋正一	
同	木下清也	
同	推井達治	
同	林田政光	
同	石村忠二	
同	奥村憲武	
同	四山幸蔵	
同	山森利夫	
同	中	

(議席順)



暑中御賀
舞伴し上げます

(仏 御 前 の 滝)

6月定例市議会

補正予算など可決

北部土地区画整理事業予算決まる

六月定例市議会は、六月十七日招集され会期を二十六日までと決めて、一般・特別会計補正予算など十九議案を審議し、いずれも原案どおり可決、承認しました。なお最終日二十六日には「医療保険制度の改革に関する決議案」、「豪雪地帯の無雪化対策に関する意見書案」が満場一致で決議されました。

▽45年度一般会計補正予算

今回の補正額は七千八百七十八万三千円で総額十二億九千九百八十三万八千円となり、補正の主なものは次のとおりです。

(歳入)

- 地方交付税 四百七十七万一千円
分担金及負担金 四十三万二千円
国庫支出金 一百八十五万円
県支出金二千二百四十九万四千円
寄付金 七十六万二千円
市債 九百二十万円
繰入金 三千九百八十七万四千円

(歳出)

- 総務費 四百九十万一千円
西谷村引継職員給与、交通安全対策費、国勢調査費など
民生費 六百五十万円
日の出児童館建設費
衛生費 三千二百八十八万円
火葬場建設費追加 九百万円
し尿処理場建設費(増設) 二千五十八万円
ごみ焼却場補修二百五十万円など
農林業費 二千八百二十二万九千円

富田地区農免道路

二千一百八十四万円
米生産調整対策費 一百五十九万二千円
黒谷林道(二年次分) 三百六十七万七千円など

土工費

城まつり経費追加 五十万円
六呂師高原便所 六十万円など
道路改良、舗装六百五十万円
道路補修 一百万円
河川費 九十五万円
公園費 六十六万二千円
なお減額されたもの
駅東線舗装、善導寺川改修 約九百万円

教育費

小学校へき地教育用品 一百一十万円
小山中プール追加 五十万円
大野公民館調理室 九十万円
有終中グラウンド夜間照明(二年次分) 百万円など

▽45年度特別会計旧西谷村国民健康保険事業予算

旧西谷村住民の方の国保予算とし

七百五万三千円

▽45年度特別会計公団分収造林事業補正予算

六百七十三万四千円
旧西谷村関係分の引継ぎ

▽45年度特別会計北部土地区画整理事業予算

六百六十万円
新規に区画整理事業として調査測量費四百六十万円など

▽専決処分の承認

44年度一般会計補正予算の専決で地方債の増額

▽北部土地区画整理事業特別会計条例

新規に特別会計の設定

▽大野市国民健康保険条例および国民保険税条例の特例条例

七月より合併の西谷村の国保加入者の特例分

▽大野市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

消防団員の処遇改善および損害補償の充実など

▽大野市税賦課徴収条例の一部改正について専決処分の承認

個人市民税の課税最低限の引上げおよび固定資産税都市計画税の負担調整措置

▽大野市国民健康保険税条例

例の一部改正について専決処分の承認
低所得世帯の保険税減額世帯の標準額の引上げおよび譲渡所得の分離課税の実施

▽市営土地改良事業の実施について

富田地区井ノ口より富島までの二・六六五畝を幅員六・五メートルで農免道路の新設

▽市道路線の認定について

西里町の新設道路を市道に
県道昇格のため下鹿線の廃止

▽市道路線の区域変更について

旧富田診療所医師住宅の有償払下げ
旧五箇出張所の無償払下げ

▽財産の処分について

元嵐分校を地元は無償払下げ
廃道敷(水落旧園道)を関係地主に有償払下げ

▽財産処分専決承認について

旧富田診療所医師住宅の有償払下げ
旧五箇出張所の無償払下げ

議案とその結果

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 付託区分, 結果. Contains 7 rows of legislative items and their outcomes.

一般質問

六月十八日、十九日の両日にわたり代表・一般質問が五名の議員により活発になされ、これに対し理事者側からそれぞれ答弁がありました。

農政問題について

又、転作については何ら効果が上っていないように思われますが、現在の状況今後の対策を述べていただきたい

答 当市の作付転換割当て二百六十九町歩を二割程度上まわり、消化いたしました

公害について

中竜鉱山から排出するカドミウム

ばかりであります。一昨年、富山方面からカドミウムによる人体への被害、作物への被害があることが立証され、県においても昨年四月から県民生活課公害係が設置され一応の体制は整ったものの、これまで

というところであります。これはダムによってできる新しい水を上水道、かんがい水として確保していきたい。この点につきましては、建設省の方へ理解を得てあります。第二点は、五条方の

第一号 専決処分の承認を求めることについて
第二号 市営土地改良事業の実施について
第三号 字区域の変更について
第四号 大野市道路線の認定について
第五号 大野市道路線の廃止について
第六号 大野市道路線の区域変更について
第七号 市有財産の処分について
第八号 市有財産の処分について
第九号 専決処分の承認を求めることについて

議会の動き

Table with columns for date, committee name, and action. Includes dates from April to June and various committees like '霊場建設特別委員会' and '産業経済委員会'.

が実情であります。一年間に二十万円近いところの借料を支払って、駐車場としての市民サービスにとつめたい

委員会の活動

六月定例会の各委員会の状況は次のとおりです。

▽総務委員会

付託された案件は議案十件、請願一件、陳情一件で議案はいずれも原案を可といたしました。

なお審議の過程で、西谷村合併による事務引継ぎに際し手落のない配慮と引継職員の適正配置を行なうよう、また消防車の充実について年次の計画をたてて更新されるよう要望いたしました。

次に請願は採択、陳情はすでに議案提出済であり可決したとおりです。

▽産業経済委員会

付託案件は議案三件、請願一件で、議案はすべて原案を可といたしました。審議の過程で、城まつりの協力団体に對する育成助成費予算が少ないので増額を要請しました。

融雪施設助成の請願は採択しました。次に公害問題について、農産物の被害についての調査、検査の万全を要請しました。

▽教育民生委員会

付託案件は議案三件、請願一件で議案はいずれも原案を可とすることに決しました。

請願は継続審査に決しました。

▽建設委員会

付託案件は議案六件、請願五件陳情三件で議案はいずれも原案どおり可決しました。

審議過程において、駅東区画整理事業の継続である東部区画整理事業の早期着工について要望がなされたが、理

事者は北部区画整理に着手した現在、人員その他諸条件が伴わないので、難色を示したが、今後の機構改革と相まって誠意をもって着手されるよう要請したのであります。

次に請願・陳情については請願三件を採択、請願二件、陳情三件を継続審査としました。前回三月議会の継続分のうち請願三件、陳情三件を採択、請願三件を再び継続審査に決しました。市道舗装改良など住民要望が多いので、許す限り補正予算化の上住民サービス

陳情・請願

六月定例会市議会に出された陳情・請願についての結果は次のとおりです。

採択されたもの

市道舗装について (月美町、中川誠一ほか二十七名)

市道舗装について (明倫町 藤兼晃ほか三名)

融雪工事の援助と工事後の舗装について (五番商店街振興組合理事長 黒原義雄ほか二名)

公害防止について (大和町区長 斎藤平栄ほか十名)

医療保険制度の改革について (中津川 朱雀貞男ほか二百七十五名)

騒音規制について (城町区長 鈴木明太ほか二十名)

市道改良について (下郷区長 猪野薫ほか七名)

市道拡張について (義道区長 葛葉寛嗣)

市道舗装について

▽公害対策特別委員会

付託案件は公害防止についての請願騒音規制についての陳情でいずれも住民生活に直結する問題であり、積極的な行政指導をすべきものとして採択しました。

市独自の調査、資料の収集その他上部団体の現地調査等の経費を要するが委託料などわずかな予算計上で問題解決にほど遠いので今後前向き姿勢で取り組むよう要請しました。

(中荒井二丁目 小池健一ほか十七名)

市道編入願い (中村町区長 福田耕男ほか十五名)

市道舗装について (下中野区長 松島清)

市道編入と新設について (西大月区長 佐々木信治)

市道新設について (伏石区長 野中治郎兵衛ほか五名)

市道拡張について (上黒谷区長 吉田八左エ門ほか四名)

教職員の宿日直廃止について (校長会長 出村清一ほか四名)

市道新設について (新庄 松田五百里ほか二十四名)

市道編入について (柿ヶ島区長 小島政一)

市道改修について (土打区長 松原泰ほか四名)

豪雪地帯の無雪化対策に関する意見書を決定

六月二十六日の本会議に議員提出議案として、豪雪地帯の無雪化対策に関する意見書を緊急提出され、満場一致で決定、政府など関係機関に提出いたしました。

△豪雪地帯の無雪化対策に関する意見書▽

豪雪寒冷地帯という自然的悪条件下にある北陸地方は、地域開発を進める過程において、例年襲来する豪雪が産業の発展あるいは民生安定の上には大きな障害となり、現行制度化においては、当地方の経済的、社会的後進性は打破しえず、過疎化より脱却できない実情である。よって政府におかれては、当地方

の無雪道路・無雪都市の構想を実現するため、豪雪のもたらす膨大な損失の事態を再確認され、すみやかに下記事項を中心とした技術的かつ総合的対策を確立し、これが早期実現を図られるよう強く要望する。

記

- 一、無雪化道路の建設のための特別措置法の制定
 - 一、無雪都市建設のための特別措置法の制定
 - 一、国立総合対策研究機関の北陸地方設置
- 以上地方自治法第九十九条第二項の規定により、意見書を提出する
- 大野市議会議長 高田新左エ門

安間政雄議員逝去さる

当市議會議員安間政雄氏は、かねて病氣療養中のところ去る七月十八日、病状悪化のため逝去されました。故人は明治三十二年六月十六日西谷村秋生に生まれ、西谷村議二期つとめられました。その後興營衛生川ダム建設に際し水没のため当市へ転居、昭和三十四年以来連続三期当選十一年余りの市會議員の間、正副議長の要職につかれ市政の発展に貢献されてきました。

もはやお会いするすべもありません。合掌して衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

〈あとがき〉

セミの鳴き声を耳にする季節となつてまいりました。涼を求めて、海に山にでられることでしょうか最近特に幼児の水の事故が多くなつております。ちよつとした油断がとりかえしのつかぬ大事となります。みんなが気をつけて楽しい夏にしたいものです。さて、議会報大野の第二号をお届けいたします。紙面の都合上多くを記載できない事は残念ですが内容充実にとめております。各位のご愛読をお願いいたします。

議会議長に石田善徳氏

議運委員の交替により互選の結果、石田善徳氏が委員長に就任しました。